

V・ファーレン長崎、高木監督、吉岡選手 J1昇格おめでとう、今後市の対応は

市長／特産品などでPRし、連携を強めたい。



黒岩 英雄 議員

情報、通信等について

議員 市役所内のNTTの固定電話の回線数は。移動できる携帯電話の数がタブレット、モジュール等の数は、今後さらに増加していくであろうと思われるが、現在それぞれの台数を伺いたい。

市長 固定電話130回線、携帯電話が31台、タブレットが9台となっている。

議員 それぞれの機種の直接の契約担当者、あるいは管理者は誰なのか。また、それらを総括する部署はどこになるのか。

副市長 今は担当課でそれぞれ契約しているが、全体的な数字の把握は、情報通信の所管課である情報統計課でやるべきだと思う。

議員 合理的なポイントの管理はどうなっているか。

総務部長 合併当初、携帯電話の保有が少なかったのだが、今後ポイント活用等についてはしっかりと管理し、契約の形態をもう一度精査すべきだと思う。

島鉄について

議員 島鉄の経営難で、再生支援を長崎自動車の子会社化する問題で、市民が心配しておられるが。

市長 今後も継続し、雇用も維持され、地域住民の方々への影響はないと、地域経済活性化支援機構から説明を受けたところである。また、長崎自動車の豊富なノウハウを活かし、地域公共交通の推移、ひいては島原半島の経済活性化へつながるものと期待しているところである。

V・ファーレン長崎について



V・ファーレン長崎 J1昇格表敬訪問

議員 本市、北有馬町出身の高木監督率いる、V・ファーレン長崎が、J1への自動昇格を決めた。また、県内唯一の選手でもあった、吉岡選手ともどもおめでとうござります。

市長 今後、ジャパネットたかた前社長で、現V・ファーレン長崎社長が、南島原とも何らかの形で結びつきを持ちたいと言われている。例えば、地元そうめんの振興につながるれないか。

市長 これまでも、南島原応援デーでそうめん流しを実施してきた。今後とも、南島原市の特産品など、PRや販売促進につながるよう、V・ファーレン長崎と連携を強めていきたいと考えている。

2期目を指す意志は

市長／（本文にて）



隈部 和久 議員

市長 「住み続けたい、現へ向けて、市民の期待に沿うよう、引き続き市政運営に取り組みたい意欲はあるが、しかるべき時期に表明したい。

議員 大型建設事業の計画を進めているが、懸念や反対の声もある。立候補を早めに表明し、市民の判断を仰ぐべきではないか。その一つである有馬商跡地活用について、多目的運動広場を造るという計画だが、国道からの道路についての考えは。

教育次長 急カーブで、やや狭くなっている箇所の改良のみでの対応を考えている。

議員 年間利用者数の予測の内訳は。

教育次長 サッカーの練習や試合で1万6千人、総合型スポーツクラブ「TEAMひまわり」の事業で2千人、その他、グラウンドゴルフ等で1,200人程度を予定している。

議員 予測でも、9割超サッカーによる利用であり、市民が憩い集える多目的広場といっても、実質サッカー場である。であるならば何故、本市のスポーツゾーンとして、野球場やテニスコートや芝生広場があり、道路事情も良い、有家総合運動公園を考えないのか。有馬商跡地という場所ありきでの計画であり、利用者や市民目線とは到底思えない。

教育次長 新たな敷地の確保等、慎重な協議が必要であり、現段階では本

計画を進めていきたい。

市給食センター建設について

議員 現場の給食会等から、計画に関する協議の進め方に対し、非常に大きな懸念や、疑念が出ていると聞かされた。

教育長 現在出ている疑問を精査すると、今後の基本設計で検討していく内容が殆んどである。課題ごとに、給食会、栄養士部会、納入業者等と協議し、方向性を示していきたい。

議員 本計画も、建設費に関しても、当初の見積りの倍近くに膨らんでいる。一旦、立ち止まって、慎重に現場と協議すべきである。



給食センターの作業風景